

2012年度 第1四半期 決算説明会

富士フイルム ホールディングス株式会社

2012年7月27日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2012年度第1四半期 決算 概要

FUJIFILM

2012年度第1四半期 決算 概況

- ・ 円高影響による売上減(112億円)、営業利益減(34億円)
- ・ 欧州の景気悪化による需要減
- ・ モニター市場の成長鈍化によるフラットパネルディスプレイ材料の需要減
- ・ メディカルシステム・ライフサイエンス、ドキュメントは堅調に推移
- ・ イメージングソリューションは黒字化

前年同期比では減収減益であるものの
想定内で推移

第1四半期 業績 (2012年4月~2012年6月)

(単位:億円)

	2011年度1Q	2012年度1Q	対前年度
売上高	5,301 100.0%	5,183 100.0%	-118 -2.2%
営業利益	290 5.5%	209 4.0%	-81 -27.8%
税金等調整前 四半期純利益	281 5.3%	134 2.6%	-147 -52.5%
当社株主帰属 四半期純利益	145 2.7%	25 0.5%	-120 -82.7%
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益	30.13円	5.20円	-24.93円
為替 :米ドル :ユーロ	82円 117円	80円 103円	-2円 -14円

3

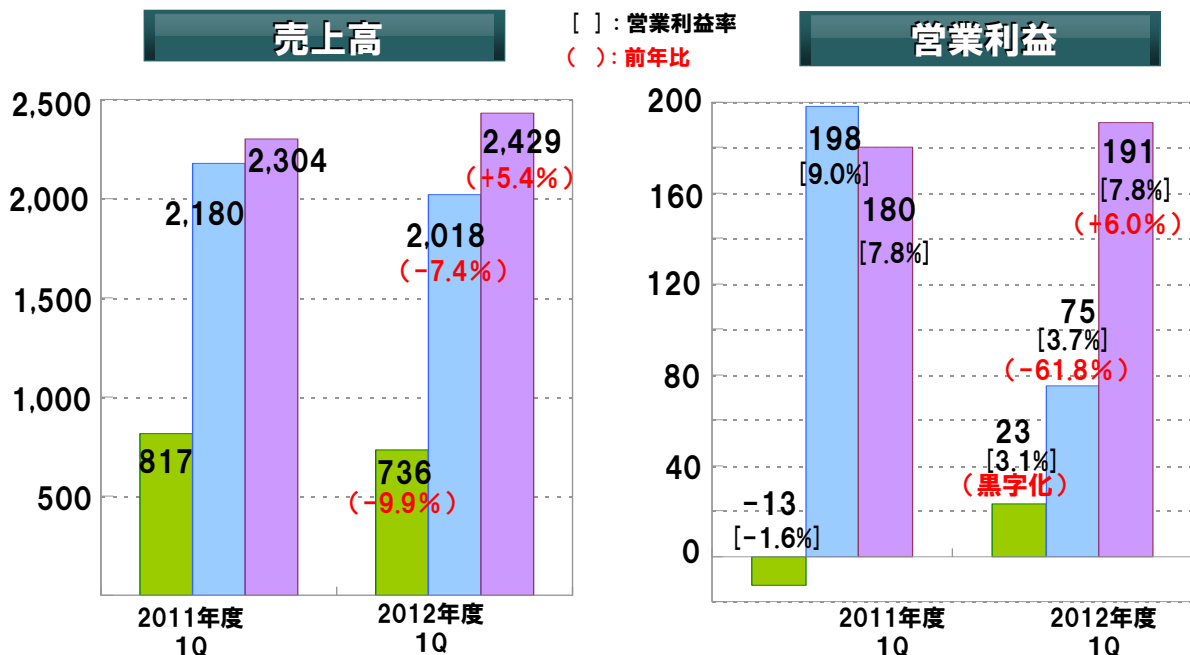
セグメント別:連結売上高/営業利益

■ イメージングソリューション ■ インフォメーションソリューション ■ ドキュメントソリューション

単位:億円

[] : 営業利益率

() : 前年比



* セグメント間取引消去後

4

セグメント別 概況

■ イメージング ソリューション

- ・フォトイメージングでは、カラーペーパーやインクジェット材料などのプリント材料製品の販売が堅調に推移。
- ・特にカラーペーパーは、欧州を始めとした世界各地での他社切り替え等により、販売が好調。
- ・デジタルカメラでは、ロングズーム機種や防水機種の販売が好調だったものの、コンパクトデジタルカメラ需要の減少により、売上が減少。

減収であったものの
フォトイメージングでの値上げ効果などにより
部門全体で増益・黒字化

5

セグメント別 概況

■ インフォメーション ソリューション

- ・フラットパネルディスプレイ材料は、ブレンTACの薄手フィルムの売上が増加。またVA用フィルム・IPS用フィルムも販売が好調。一方でモニター市場の成長鈍化により、WVフィルムの売上が減少し、全体で売上減。
- ・医療システムでは、医用画像ネットワークシステムなどの販売が好調、また携帯型超音波診断装置メーカー「ソノサイト」の連結子会社化により売上が増加。医薬品は「ゾシン」等の既存薬の販売が引き続き好調に推移。化粧品の新商品が好評で、特に通販での払い出しが順調。
- ・電子材料で引き続き売上が増加。グラフィック、記録メディア、光学デバイスは売上が減少。

医療・ライフサイエンスは好調だったものの
部門全体で減収減益

6

セグメント別 概況

■ ドキュメント ソリューション

- ・部門全体で、国内、アジア・オセアニア地域、米国ゼロックス社向け輸出いずれも売上が増加。
- ・オフィスプロダクトの国内におけるコピー枚数は、震災影響を受けた前年同期比で増加。
- ・プロダクションサービスは、アジア・オセアニア地域において販売が引き続き好調。
- ・グローバルサービスは、国内及びアジア・オセアニア地域ともに売上が2桁成長。

前年同期の震災影響を除いても
増収増益を達成

7

連結貸借対照表

(単位:億円)

	10年度末	11年度末	12年6月末	対11年度末		10年度末	11年度末	12年6月末	対11年度末
現金及び現金同等物	3,131	2,351	2,585	234	長短社債及び借入金	1,896	1,989	2,013	24
受取債権	5,022	5,565	4,827	-738	支払債務	2,614	2,584	2,310	-274
棚卸資産	3,422	3,780	3,960	180	その他流動固定負債	4,069	4,259	4,257	-2
有価証券 その他流動資産	1,533	1,524	1,522	-2	負債計	8,579	8,832	8,580	-252
流動資産計	13,108	13,220	12,894	-326	株主資本計	17,225	17,218	16,943	-275
有形固定資産	5,641	5,539	5,405	-134	非支配持分	1,284	1,347	1,335	-12
営業権	3,444	3,935	3,714	-221	純資産計	18,509	18,565	18,278	-287
投資有価証券 その他資産	4,895	4,703	4,845	142	負債・純資産 合計	27,088	27,397	26,858	-539
固定資産計	13,980	14,177	13,964	-213					
資産合計	27,088	27,397	26,858	-539					

(単位:円)

期末日 為替レート	10年度末	11年度末	12年6月末	対11年度末
米ドル	83	82	79	3円高
ユーロ	118	110	99	11円高

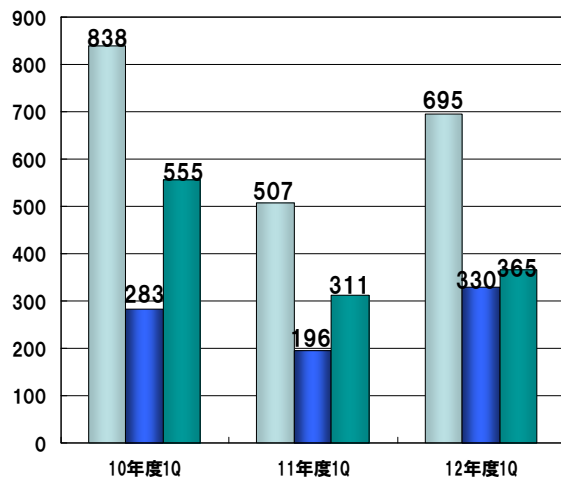
8

キャッシュフロー

(単位:億円)

- 営業活動によるキャッシュフロー
- 投資活動によるキャッシュフロー
- フリーキャッシュフロー

(単位:億円)



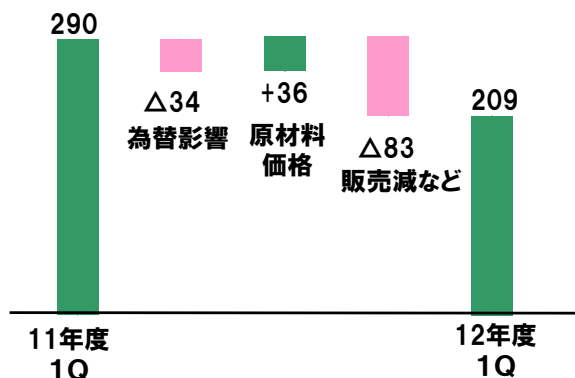
	10年度 1Q	11年度 1Q	12年度 1Q
四半期純利益	202	174	62
減価償却費	384	349	336
受取債権の増(-)減(+)	300	298	578
棚卸資産の増(-)減(+)	-252	-182	-262
営業債務の増(+)-減(-)	-70	-273	-183
未払法人税等他負債の増(+)-減(-)	129	203	164
その他	145	-62	0
営業活動によるCF	838	507	695
設備投資	-157	-243	-217
ソフトウェアの購入	-34	-36	-36
有価証券・投資有価証券等の 売却・購入	-60	151	56
その他	-32	-68	-133
投資活動によるCF	-283	-196	-330
フリーキャッシュフロー	555	311	365
営業活動によるCF+設備投資	681	264	478

9

2012年度 第1四半期 決算説明会

参考資料

営業利益 増減要因



2011年度 1Q	2012年度 1Q			
	為替影響	原材料価格	販売増減など	実績
290	▲34	+36	▲83	209

	2011年度1Q (平均)	2012年度1Q(平均)	対前年度
為替			
米ドル	82円	80円	2円高 (2.4%高)
ユーロ	117円	103円	14円高 (12.0%高)
原材料			
銀	101,000円/Kg	79,000円/Kg	▲22,000円(▲21.8%)

11

第1四半期 セグメント別 業績

■ イメージング ソリューション

(単位:億円)

売上高	2011年度 1Q	2012年度 1Q	対前年度
フォトイメージング	497	478	-19 (-3.7%)
電子映像	320	258	-62 (-19.5%)
合計	817	736	-81 (-9.9%)

(単位:億円)

営業利益 [営業利益率]	2011年度 1Q	2012年度 1Q	対前年度
イメージング ソリューション	-13 [-1.6%]	23 [3.1%]	36 (黒字化)

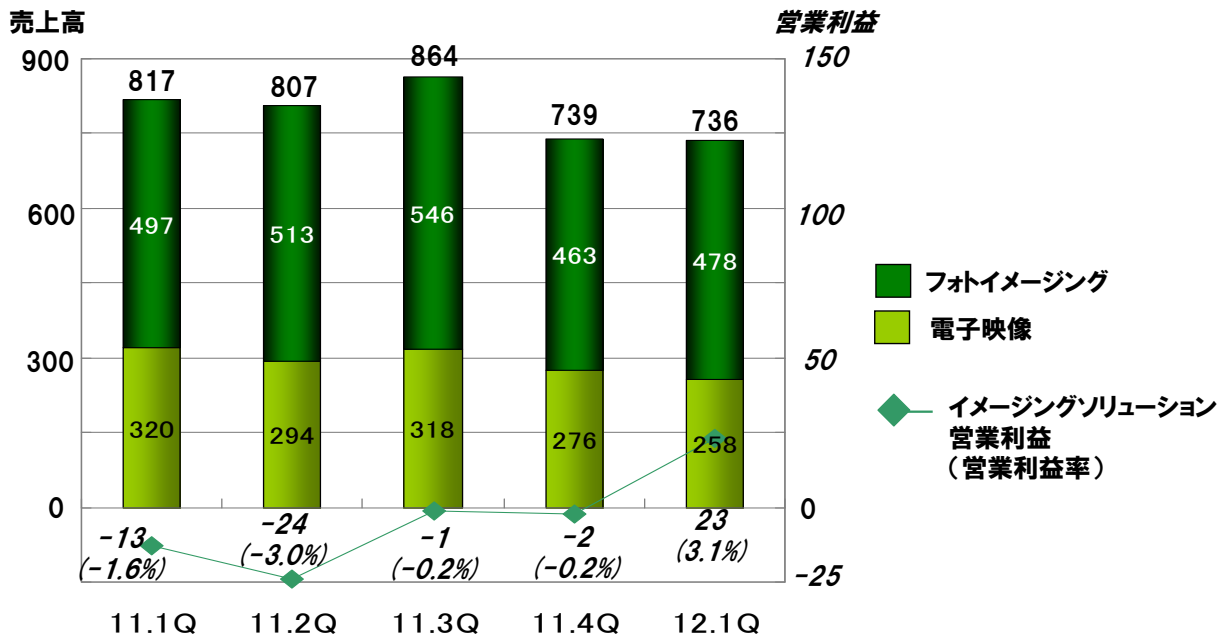
*セグメント間取引消去後

12

セグメント別 四半期 売上高推移

■ イメージング ソリューション

(単位:億円)



13

第1四半期 セグメント別 業績

■ イメージング ソリューション

フォトイメージング

- カラーペーパーやインクジェット材料などプリント材料製品が堅調に推移。
- 欧州を始めとした世界各地での他社切り替え等により、特にカラーペーパーが好調。

電子映像

- コンパクトデジタルカメラの需要減の影響で売上が減少したが、「FinePix HS30EXR」などのロングズーム機種や「FinePix XP50」などの防水機種が好調に推移。
- 「FUJIFILM X-Pro1」は、世界60ヶ国以上に導入。交換レンズやアクセサリとセットでシステムとして訴求を強化。

14

第1四半期 セグメント別 業績

■ インフォメーション ソリューション

(単位:億円)

売上高	2011年度 1Q	2012年度 1Q	対前年度
メディカルシステム ライフサイエンス	611	676	65 (+10.6%)
グラフィックシステム	577	553	-24 (-4.2%)
フラットパネルディスプレイ	535	372	-163 (-30.4%)
記録メディア	120	98	-22 (-17.9%)
産業機材/電子材料他	197	203	6 (+2.3%)
光学デバイス	140	116	-24 (-16.5%)
合計	2,180	2,018	-162 (-7.4%)

(単位:億円)

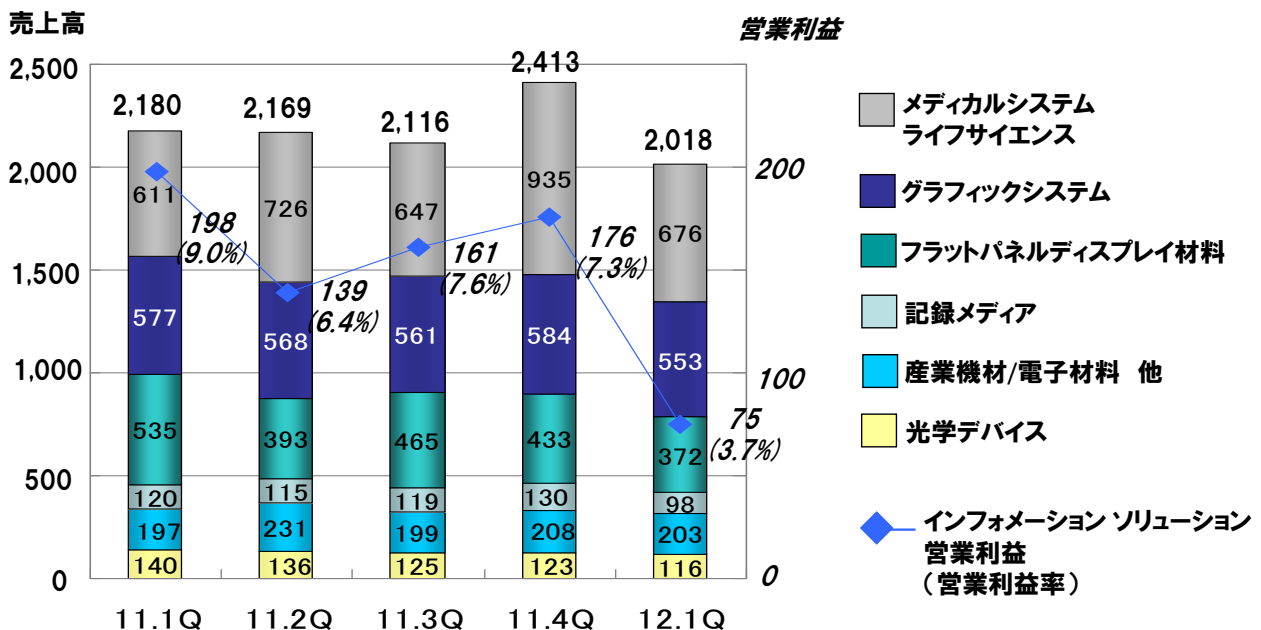
営業利益 [営業利益率]	2011年度 1Q	2012年度 1Q	対前年度
インフォメーション ソリューション	198 [9.0%]	75 [3.7%]	-123 (-61.8%)

*セグメント間取引消去後

セグメント別 四半期 売上高推移

■ インフォメーション ソリューション

(単位:億円)



*セグメント間取引消去後

第1四半期 セグメント別 業績

■ インフォメーション ソリューション

メディカルシステム・ライフサイエンス

【メディカルシステム】

- ネットワークシステム分野の売上が増加。医療用画像情報ネットワークシステム「SYNAPSE」は国内約1,750の医療施設に導入されトップシェアを維持。
- 小型FCR「FCR PRIMA T」の販売が引き続き好調。
- 携帯型超音波診断装置メーカー「ソノサイト」の連結子会社化により売上が増加。

【医薬品】

- 医薬品は、「ソシン」「オゼックス細粒」「ジェニナック」等の販売が好調に推移し、富山化学の売上が伸長。
- 富山化学の抗リウマチ薬「コルベット錠(T-614)」が2012年6月29日に製造販売承認。
- 富士フィルムファーマが、バイエル薬品の3薬剤(グルコバイ、アベロックス、シプロキサソ)専売権獲得の契約を締結。

【ライフサイエンス】

- 化粧品「アスタリフト」は、2012年春の新商品「ディプロテクターホワイト」、「ライトアナライジングメラノタッチコンシーラー」等によるシミ対策の訴求により、通販及び店頭での払い出し促進。春の新商品は、美容専門誌及び化粧品口コミサイトのベストコスメ企画において第1位を獲得するなど好評。

第1四半期 セグメント別 業績

フラットパネルディスプレイ材料

- ブレーンTACの薄手フィルム(60 μ)の売上増。またVA用フィルム・IPS用フィルムも販売が好調。
- モニター市場の成長鈍化により、WVフィルムの売上が減少。

グラフィックシステム

- 主力の刷版材料を中心に各製品とも販売は好調に推移したものの、円高影響により売上が若干減少。

記録メディア

- コンピューターテープの販売が堅調に推移したものの、為替影響や業務用ビデオテープの販売減少により売上が減少。

産業機材/電子材料 他

- 工業用X線フィルムの販売が好調に推移。
- ArF液浸レジスト、イメージセンサー用カラーモザイクなどの販売が好調で売上が増加。

光学デバイス

- テレビカメラ用レンズなどの販売は前年同期並だったが、携帯電話用カメラレンズの販売が減少したことなどにより、売上が減少。

第1四半期 セグメント別 業績

■ ドキュメント ソリューション

(単位:億円)

売上高	2011年度 1Q	2012年度 1Q	対前年度
オフィスプロダクト	1,163	1,231	68 (+5.9%)
オフィスプリンター	370	402	32 (+8.7%)
プロダクションサービス	352	345	-7 (-1.9%)
グローバルサービス	214	238	24 (+11.0%)
その他	205	214	9 (+3.6%)
合計	2,304	2,429	125 (+5.4%)

(単位:億円)

営業利益 [営業利益率]	2011年度 1Q	2012年度 1Q	対前年度
ドキュメント ソリューション	180 [7.8%]	191 [7.8%]	11 (+6.0%)

*セグメント間取引消去後

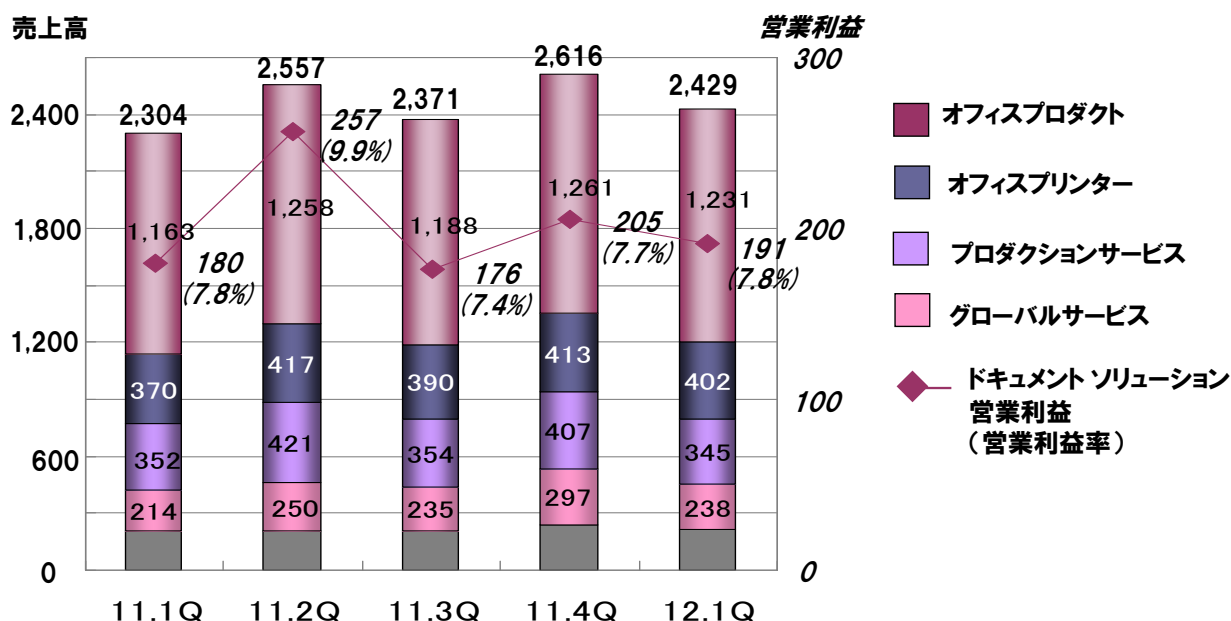
*オフィスプロダクト・プロダクションサービスにおいて商品分類の組み換えを行っております。

19

セグメント別 四半期 売上高推移

■ ドキュメント ソリューション

(単位:億円)



*セグメント間取引消去後

*オフィスプロダクト・プロダクションサービスにおいて商品分類の組み換えを行っております。

20

第1四半期 セグメント別 業績

■ ドキュメント ソリューション

オフィスプロダクト

- 国内は、カラー機・モノクロ機ともに販売台数が増加し、コピー枚数も増加。
- アジア・オセアニア地域及び米国ゼロックス社向け輸出において カラー機・モノクロ機ともに販売台数が増加。

オフィスプリンター

- 国内は、カラー機・モノクロ機ともに販売台数が増加。
- 米国ゼロックス社向け輸出においても、低速機の出荷が伸長し、出荷台数が大幅に増加。

プロダクションサービス

- アジア・オセアニア地域において、カラー・オンデマンド・パブリッシング・システムの販売好調により販売台数が増加。
- 米国ゼロックス社向け輸出において、出荷台数が増加。

グローバルサービス

- 国内、アジア・オセアニア地域ともに売上が2桁増加。

国内・海外別連結売上高

(単位:億円)

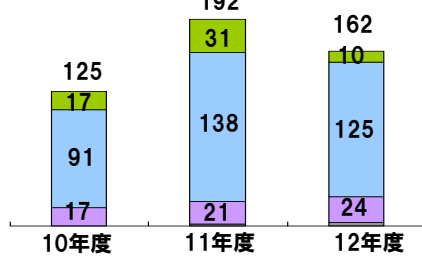
	2011年度 1Q		2012年度 1Q		対前年度
	構成比 (%)		構成比 (%)		
日本	44.4%	2,354	44.1%	2,284	-70 (-3.0%)
米州	16.8%	889	18.1%	938	49 (+5.5%)
欧州	12.4%	656	12.0%	623	-33 (-5.0%)
内、中国	9.6%	512	8.8%	455	-57 (-11.1%)
アジア他	26.4%	1,402	25.8%	1,338	-64 (-4.5%)
海外	55.6%	2,947	55.9%	2,899	-48 (-1.6%)
合計	100.0%	5,301	100.0%	5,183	-118 (-2.2%)

設備投資、減価償却費

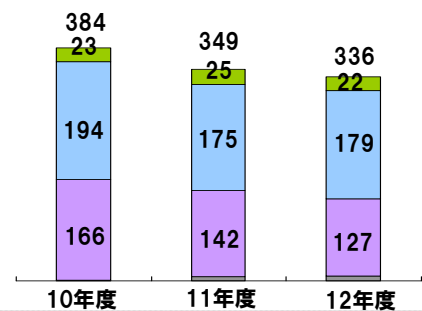
- イメージングソリューション
- インフォメーションソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

(単位:億円)

設備投資(1Q)



減価償却費(1Q)



	2010年度		2011年度		2012年度	
	1Q	年度	1Q	年度	1Q	年度(予想)
イメージング	17	81	31	92	10	100
インフォメーション	91	618	138	598	125	680
ドキュメント	17	195	21	193	24	290
コーポレート	0	5	2	26	3	30
設備投資*	125	899	192	909	162	1,100
イメージング	23	101	25	108	22	-
インフォメーション	194	774	175	763	179	-
ドキュメント	166	658	142	575	127	-
コーポレート	1	38	7	32	8	-
減価償却費	384	1,571	349	1,478	336	1,570
有形固定資産の減価償却費*	252	1,066	222	966	209	1,100

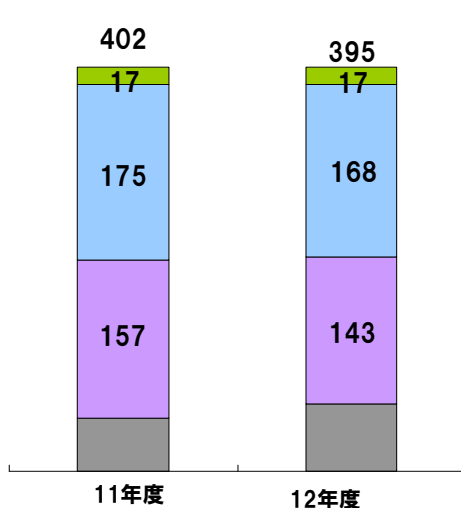
* ドキュメントソリューション部門のレンタル機器を除く。

研究開発費、販売費および一般管理費

- イメージングソリューション
- インフォメーションソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

(単位:億円)

研究開発費(1Q)



	2011年度		2012年度	
	1Q	年度	1Q	年度(予想)
イメージング	17	72	17	-
インフォメーション	175	769	168	-
ドキュメント	157	641	143	-
コーポレート	53	252	66	-
研究開発費	402	1,734	395	1,800
<売上高比>	7.6%	7.9%	7.6%	7.6%
販売費及び一般管理費	1,435	5,814	1,448	-
<売上高比>	27.0%	26.5%	28.0%	-

為替、為替感応度、人員

為替

(単位:円)

	2011年度					2012年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度	1Q	年度 予想
米ドル	82	78	77	79	79	80	78
ユーロ	117	110	104	104	109	103	103

*2012年度 営業利益 為替感応度 米ドル:14億円、ユーロ9億円

人員

(単位:人)

	2011.6末	2011.9末	2011.12末	2012.3末	2012.6末
連結	79,367	81,387	81,316	81,691	80,155

25

富山化学工業(株) 新薬開発スケジュール

開発番号	薬効	地域*	開発段階					剤形
			非臨床試験	P I	P II	P III	申請	
T-705	抗ウイルス剤	日本						経口
		米国						
T-3811	ニュータイプのキノロン系合成抗菌剤	日本						注射**
		米国						経口/注射
		欧州						
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療剤	米国						経口
T-5224	抗リウマチ剤	日本						経口
		海外						
T-2307	抗真菌剤	米国						注射
T-1106	抗ウイルス剤	日本						経口

* 海外については富士フィルムグループとして開発

** 経口剤は「ジェニナック」として発売

T-705は、日本においてP IIIが終了し、2011年3月30日に製造販売承認申請済み。

T-614は、2012年6月29日に製造販売承認を取得しました。

26

2012年度 第1四半期 決算説明会

2012年度 通期業績予想と施策

代表取締役社長・COO
中嶋 成博

2012年7月27日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2012年度 通期業績予想

FUJIFILM

2012年度 連結業績予想 (2012年7月27日時点)

(単位:億円)

	2011年度	2012年度(予想)	対前年度
売上高	21,953 100.0%	23,700 100.0%	1,747 +8.0%
営業利益	1,129 5.1%	1,400 5.9%	271 +24.0%
税金等調整前 当期純利益	892 4.1%	1,350 5.7%	458 +51.4%
当社株主帰属 当期純利益	438 2.0%	650 2.7%	212 +48.5%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	90.84円	134.94円	44.10円
為替 :米ドル :ユーロ	79円 109円	78円 103円	-1円 -6円

セグメント別 業績予想 (2012年7月27日時点)

売上高 目標(通期): 2兆3,700億円

(単位:億円)

	売上高	対前年度
イメージング ソリューション	3,500	273 (+8.5%)
インフォメーション ソリューション	9,900	1,022 (+11.5%)
ドキュメント ソリューション	10,300	452 (+4.6%)
合計	23,700	1,747 (+8.0%)

営業利益 目標(通期): 1,400億円

*2012年度 営業利益 為替感応度 米ドル:14億円、ユーロ9億円 銀価格 86,000円/kg

29

営業利益 目標達成のための主な施策

第2四半期以降の主な施策

- フラットパネルディスプレイ材料事業の市場回復とシェア拡大
- 高機能材料の新製品(「エクスクリア」、太陽電池用高耐候PETフィルムなど)の導入
- レーザー内視鏡や医療機器等のメディカルシステム新製品の販売
- 既存薬に加え、製造販売承認を取得した「コルベット錠」等の医薬品の販売強化
- デジタルカメラの中高級機種の販促強化とシステムラインアップの拡充
- 「Jet Press」など、デジタルプリンティングの販売強化

30

営業利益 目標達成のための主な施策

イメージングソリューション

■フォトイメージング

- ・ カラーペーパーの更なるシェアアップ
- ・ 新興国での更なる拡販
- ・ 販売価格の見直しによる収益維持・確保

■電子映像

- ・ 交換レンズ新製品投入によるレンズラインアップの拡充と、システム提案によるX-Pro1の更なる拡販
- ・ Xシリーズと中高級機種(F/HS/Sシリーズ)の販促強化
- ・ BRICSおよび新規設立現法を中心とした新興国における販売体制強化



営業利益 目標達成のための主な施策

インフォメーションソリューション

■フラットパネルディスプレイ材料

- ・ VA用フィルム・IPS用フィルム・プレーンTACフィルムのシェア拡大
- ・ 薄手フィルム(60 μ 、40 μ)の拡販
- ・ 本年度中に新たに2ラインを稼働させ、プレーンTAC、IPS用フィルム、VA用フィルムの生産能力を増強

*フラットパネルディスプレイ材料／今後の戦略

大型テレビ用に加え、スマートフォン向けなどの中小型ディスプレイ用フィルムのシェア拡大へ

- ・ 2000年より続けてきた生産ライン増設の設備投資は本年度で一区切りをつける。今後は生産技術の改良を主体とし、「生産技術の高度化」により増産や様々な用途のフィルムを生産できる体制に移す。
- ・ 中小型ディスプレイ用フィルムの開発にも注力。開発に特化したラインを準備。

営業利益 目標達成のための主な施策

インフォメーション ソリューション(つづき)

■メディカルシステム

- ・ 最大需要期である4Qに向けた商談進行
- ・ 付加価値の高い新製品(レーザー内視鏡等)の投入
- ・ 新興国向け医療機器販売強化
- ・ ソノサイト社の携帯型超音波診断装置の拡販

■ライフサイエンス

- ・ 20-30代女性をターゲットとした化粧品新ブランド「ルナメア」発売、新規顧客層の獲得
- ・ 機能性化粧品「アスタリフト」は新成分を配合し、新「アスタリフト」としてリニューアル販売
- ・ 海外展開の強化

■医薬品

- ・ 「ゾシン」「オゼックス細粒」「ジェニナック」の更なる拡販
- ・ 6月に承認を取得した「コルベット錠」の販売開始
- ・ バイエル薬品3薬剤販売開始による富士フィルムファーマの売上拡大(9月~予定)

営業利益 目標達成のための主な施策

インフォメーション ソリューション(つづき)

■グラフィックシステム

- ・ 刷版事業における環境対応システムや無処理製品の拡販によるシェア拡大や利益率向上
- ・ 新会社設立によるワールドワイドの営業・マーケティング・技術サービス力の強化
- ・ 「Jet Press」及びワイドフォーマットプリンターを中心にデジタルプリンティング分野での販売強化

■産業機材/電子材料 他

- ・ 透明導電性フィルム「エクスクリア」や太陽電池用高耐候PETフィルムなどの新製品を市場投入
- ・ 引き続きArレジストやCMPスラリーの拡販を推進

■記録メディア

- ・ バリウムフェライト磁性体を使用した磁気テープの拡販

■光学デバイス

- ・ 高画素を中心としたスマートフォン用薄型カメラモジュールの受注拡大
- ・ 利益率の高いテレビカメラ用レンズの拡販
- ・ 生産効率化等によるコストダウンの推進

営業利益 目標達成のための主な施策

ドキュメントソリューション

■商品・サービス

- ・ グローバルサービス、プロダクションサービス及びソリューションサービス(一般オフィス向け)の強化と拡大
- ・ 競争力の高い商品の拡販による売上の拡大
ApeosPort-IV/DocuCentre-IVシリーズなど

■地域戦略

- ・ 国内6地域での統轄会社設立による広域マーケティング展開を通じたソリューション・サービスの提供
- ・ アジア・オセアニア地域での拡販、米国ゼロックス社と協業して欧米、新興国での拡販

■全チャネル、全事業領域における生産性改善等の体質強化による収益の向上

FUJIFILM

わたしたちは、先進・独自の技術をもって、
最高品質の商品やサービスを提供する事により、
社会の文化・科学・技術・産業の発展、
健康増進、環境保持に貢献し、
人々のクオリティ オブ ライフのさらなる向上に寄与します。

富士フイルム ホールディングス株式会社

経営企画部 IR室

<http://www.fujifilmholdings.com>